

浅沼稻次郎 人望ある庶民政治家で、社会党委員長として安保闘争の先頭に立ち、立会演説会で暗殺された。

あさぬまいねじろう
子規句歌革新1898 =

東京府三宅島生まれ。

日露戦争終・1905 = 7歳：小学校に入学。

韓国反日暴動1907 = **9歳**：

韓国併合・・・1910 = 12歳：上京して父と同居し、砂町小学校に転校。
大逆事件判決1911 = 13歳：府立三中に入学。雄弁大会に出て、**最初の演説を行う。**
明治天皇没・1912 = 14歳：

第一次大戦始1914 = 16歳：三中で蔵原代議士が講演、深い感銘を受ける。
進学に迷ったが、

民本主義・・・1916 = **18歳**：三中を卒業、陸軍士官学校を受験、

ロシア革命・1917 = 19歳：再び受験、

本格政党内閣1918 = 20歳：海軍兵学校も受験したが、いずれも不合格で、早稲田大学予科に入学。雄弁会、ボート部に属し、

ベルサイユ条約・1919 = 21歳：***社会主義に接近、民人同盟会結成に参加。同会が急進、現実両派に分裂するや後者に属し、和田巖、稲村隆一らと建設者同盟を結成、以後田所輝明、三宅正一らと行動をともにした。**

大暴落・・・1920 = 22歳：大学部に進み、雄弁会の代表的人物になり、また先頭に立って実践活動をするようになる。

原敬首相暗殺1921 = 23歳：

関東大震災・1923 = 25歳：卒業、同年の**早稲田軍教事件**では**反対運動で活躍、右翼学生のリンチにあう。関東大震災のときも軍隊に捕らえられ、九死に一生をえた。この間、一時、日本共産党に入党したが、**

護憲三派圧勝1924 = 26歳：**解党で自然離党した。以後建設者同盟の同人とともに農民運動に加わり、無産政党组织に活躍。**

治安維持法・1925 = **27歳**：**農民労働党書記長に就任したが、即時結社禁止とされた。**

円本時代始・1926 = 28歳：**労働農民党組織部長に就任、日農常任委員として新潟県木崎村、王番田争議などを指導したが、**

金融恐慌・・・1927 = 29歳：**除名され、日本労働党に移り、組織部長に就任。**

以後、中間派社会民主主義の路線を歩む。

満州事変・・・1931 = 33歳：

五一五事件・1932 = 34歳：**社会大衆党結成に際して常任中央委員となり、**

国際連盟脱退1933 = 35歳：**東京市議会議員に当選。**

帝人疑獄事件1934 = **36歳**：

二二六事件・1936 = 38歳：**総選挙に当選し、**

日中戦争始・1937 = 39歳：

反軍演説の斎藤隆夫の除名に賛成するなど、麻生久と同一行動をとった。

日米開戦・・・1941 = 43歳：

・・・1942 = 44歳：**翼賛選挙では非推薦のため立候補を断念し、**

創価学会検挙1943 = **45歳**：**東京都議会議員に当選、初代副議長に選出された。**

敗戦・・・1945 = 47歳：敗戦後、***日本社会党結成に参加、組織部長となり、**

新憲法公布・1946 = 48歳：**この年の総選挙以後、連続7回当選。**

極東裁判決・1948 = 50歳：以降、書記長就任が多く、

独立回復・・・1951 = 53歳：***社会党分裂の際し、委員長空席の右派社会党書記長となり、まとめ役として"マアママ居士"といわれた。**

マテ-事件・1952 = **54歳**：

55年体制始・1955 = 57歳：**再び統一された社会党でも書記長に選出された。**

なべ底不況・1957 = 59歳：社会党中国訪問使節団長として訪中し、共同コミュニケを発表。

美智子妃・・・1959 = 61歳：**再び党の訪中団長として'米帝国主義は日中両国人民共同の敵'と挨拶、共同声明を発表、反響をよぶ。**

安保闘争・1960 = 62歳：***左派の支持で委員長となり、安保闘争の先頭に立った。池田勇人内閣成立後の10月12日、自民、社会、民社3党首立会演説会(日比谷公会堂)で演説中、大日本愛国党を脱党していた山口二矢に刺され、病院に運ばれる途中死去した。この光景はテレビで放映され、大きなショックを与え、その夕刻には抗議集会が開かれた。生涯アパート住まいの庶民政治家として、"人間機関車"などの愛称を得た。**

大日本愛国党総裁の赤尾敏は個人的に交流のあった浅沼を'善人だから始末に悪い'と評していて、事件後も浅沼の妻享子や三木睦子と電話で連絡を取り合ったという。